



市議会議員  
**砂田喜昭**  
Tel 67-4322



参議院議員  
**たけだ良介**



市議予定候補  
**上田由美子**

禁無断転載  
複写配布

# 物価高 せめて水道料金 値下げの決断を

11日に開かれた市議会総務産業常任委員会で、県企業局と小矢部市など4市との協定が改定され、小矢部市には前年に比べて約1400万円の負担軽減になると報告されました。砂田市議は「小麦やガソリン代、電気代、食料品の値上げがひどいことになっている。小矢部市としてはせめて水道料金を値下げして市民の暮らしを応援すべきだ」と述べました。

## 県からの受水費約1400万円減

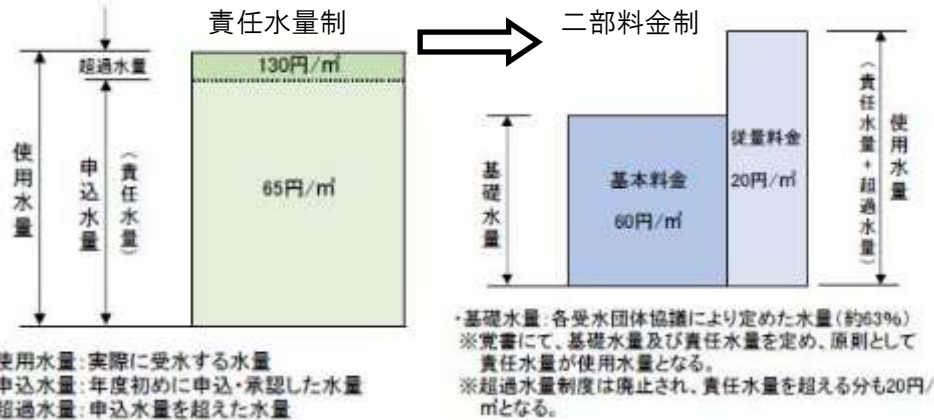
県企業局の呉西4市（高岡市、射水市、氷見市、小矢部市）との協定の見直し内容は次の通りです。

これまででは、小矢部市が県から供給を受ける上水道用水の水量は決められていて、それだけの水量を「責任水量」として購入しなければなりません。

これが改正されて、2部料金制に改められました。基礎水量の「基本料金」と

使用水量に応じて払う「従量料金」の2本立てになりました。責任水量制の時の単価は1立方メートル65円だったものが、基礎水量分の基本料金は60円に値下げされ、それに使用水量に応じて1立方メートル20円が加算されることになりました。（上図）

### 責任水量制から2部料金制へ、2022年度4月から移行



## 「ロシアはウクライナから撤退を」



### 憲法をまもる小矢部の会が スタンディングアピール

憲法をまもる小矢部の会は5月9日朝、石動駅前でロシアのウクライナ侵略に反対して、「戦争を止めよう」「憲法9条を活かした外交力で平和な日本と世界を」とスタンディングアピールをしました。

自民党や「維新の会」がこの機に乗じて「敵基地攻撃能力」や「核兵器の共有」など、GDP2%で約6兆円増の軍備拡大を叫んでいます。

2022年度から市は、基礎水量1日3100立方メートル、使用水量4899立方メートルで、前年比日量80立方メートル減です。その結果、県企業局に支払う受水費は1447万8千円少なくなる見通しです。（下図）

### 昨年来の経費節減分 約1千万円も活用を

市は人口減少や節水がすすみ、市民の水道使用量が減少しており、老朽管更新もあるので、県に支払う受水費を全額水道料金値下げにまわすことには「慎重に判断したい」（3月議会産業建設部長答弁）と述べていました。しかし、市は昨年度、県水受水量が6%削減で830万円の経費節減となり、今年度から隔月検針隔月徴収で600万円の経費節減となります。

砂田市議は「この経費節減分を老朽管更新など経営改善に活用し、県水縮減分は水道料金値下げの決断を」と求めました。市は10年間の経営戦略見直しをふまえ、料金への反映も考えたいと答えました。

#### 受水費の縮減見込みについて

【現行:責任水量制】			【改正後:二部料金制】				縮減額 (R4-R3) (千円)
単価 (円/m <sup>3</sup> )	申込 水量 (m <sup>3</sup> /日)	受水費 (年間) (千円)	基本 料金 (円/m <sup>3</sup> )	基礎 水量 (m <sup>3</sup> /日)	従量 料金 (円/m <sup>3</sup> )	使用 水量 (m <sup>3</sup> /日)	
65	4,979	118,131	60	3,100	20	4,899	△ 14,478

使用水量80m<sup>3</sup>/日減量(前年度比△1.6%)

(2021年) 118,131千円 - (2022年) 103,653千円 = 14,478千円 : 縮減額約1400万円

### 憲法9条 変えてほんとうに大丈夫?

朝日新聞の世論調査で憲法9条の条文を示して調査したら、「変えてなくて良い」が59%でした(変える33%)。

憲法9条に一項追加し自衛隊を明記すると、新しく追加した条項が優先され、制限なく自衛隊の海外派兵が可能になります。

#### 第二章 戦争の放棄

第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

### 男子中学生らも「戦争反対」

通りかかった男子中学生の一団が、「お早うございます」「戦争反対」と声をかけていきました。中には「北朝鮮のミサイルが心配」とか、「第3次世界大戦が心配」という生徒もいました。私たちは「戦争になったら君たち若者が真っ先に犠牲になるんだ」「戦争には絶対にしてはならない」と声をかけ、「国連憲章を守って、外交力で戦争しない道を選ぶべきだ」と訴えました。

日本共産党の上田由美子さんも「ロシアは侵略を止めよ」と訴えるとともに、市民の暮らしを守るために「子育てしやすい社会をめざそう」、「男女の賃金格差をなくしよう」と訴えました。